



ほっこりタイム

「やっぱり！ 今こそ、親子で心通い合うコミュニケーション」

子ども達の無邪気な笑顔は昔と変わらないように感じますが、最近の子ども達は多種多様なストレスにさらされ、生き辛さを感じている子どもが増えているという話もよく聞きます。

確かに、ユニセフによる2025年の「子どもの幸福度調査」では、日本の総合順位は36か国中14位であるものの、精神的幸福度は32位で、子ども達の心が満たされていない様子が窺えます。

しかも、厚生労働省の統計では、昨年の小中高生の自殺は過去最多の532人、1週間に10人の子どもが自ら命を絶っている状況だと知って愕然としました。「いじめ」の認知数も「不登校」の小中学生も過去最多で、孤独感や無力感、将来への絶望を抱えている子どもも少なくないそうです。一方、SNSからの誘いに乗って詐欺事件や強盗事件に加担してしまう中高生も増えているとのこと。子どもたちを健やかに育てるために、私たち親には何が出来るのでしょうか？

家族の形態も様々になり、親も子も忙しくて家族団らんの時間が取りにくくなっている昨今。そのうえ、スマートフォンを初めデジタル機器の普及によって、其々が「個」の時間を過ごすことが増え、親子の何気ない関わりが減ってはいませんか？子どもの姿が見えにくくなっていませんか？

そんな今だからこそ、やっぱり、親子で心通い合うコミュニケーション!! 私たち親は、生活リズムを整え、家族が触れ合う「ほっこり時間」を大切に、子どもの気持ちを分かろうとする努力や、親の思いを丁寧に伝える努力を続けて、子どもの健やかな成長を支えたいと思うのです。



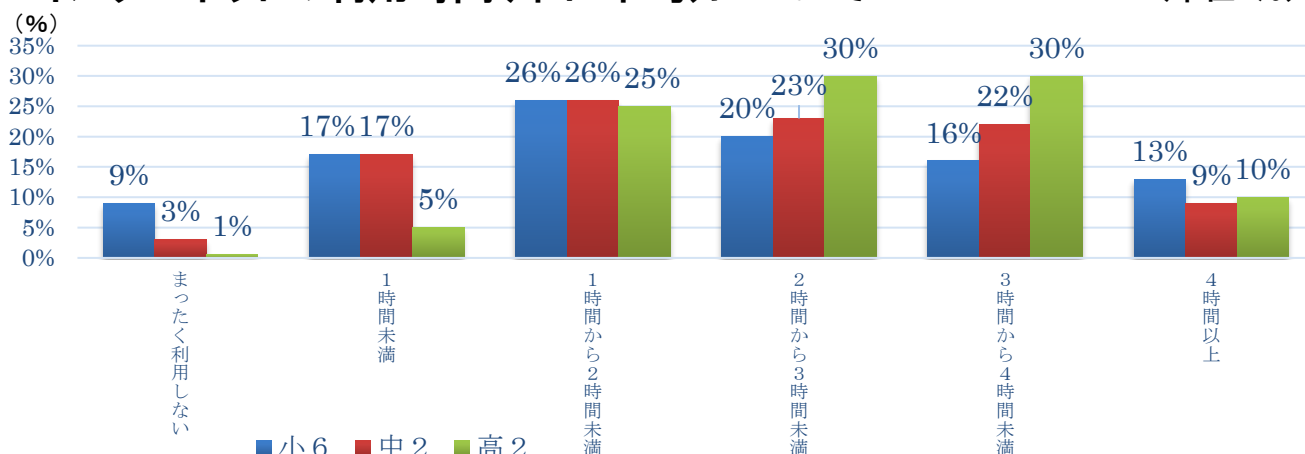
コラムニスト 静岡県人づくり推進員 兼
親業訓練インストラクター 尾駒 眞理

「富士宮市青少年のインターネットに関する実態調査」

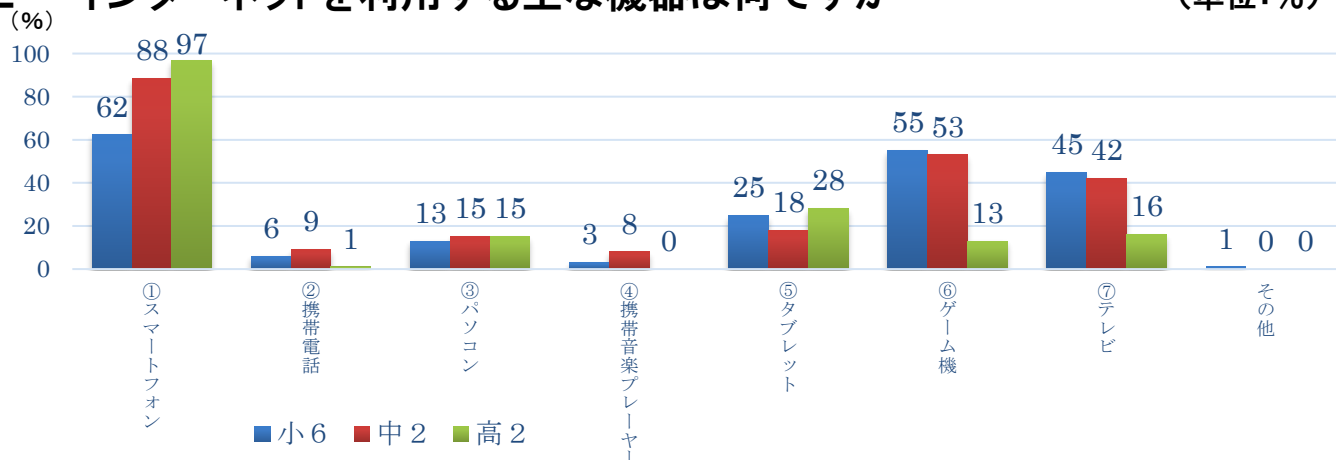
例年4月～5月に、富士宮市内の小学6年生、中学2年生、高校2年生（各学年1学級を抽出）を対象にインターネットの利用に関する実態調査を実施しています。一部の項目のみの掲載となりますが、ぜひ御覧ください。

令和8年度調査対象者：小学6年生 782人、中学2年生 737人、高校2年生 118人

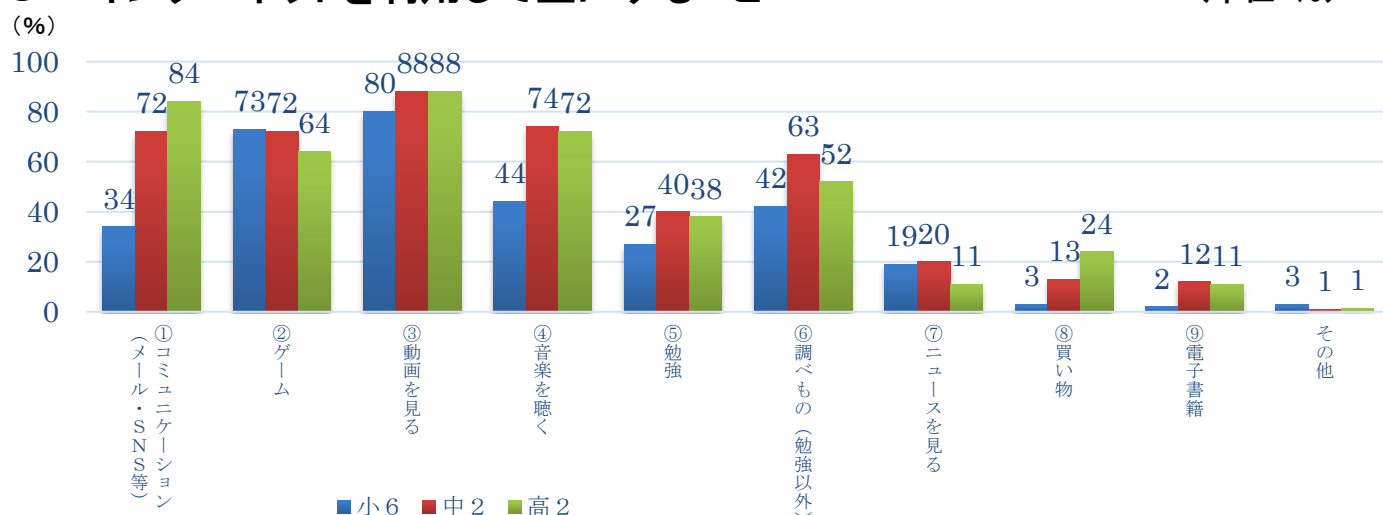
1 インターネットの利用時間(平日平均)について (単位:%)



2 インターネットを利用する主な機器は何ですか (単位:%)

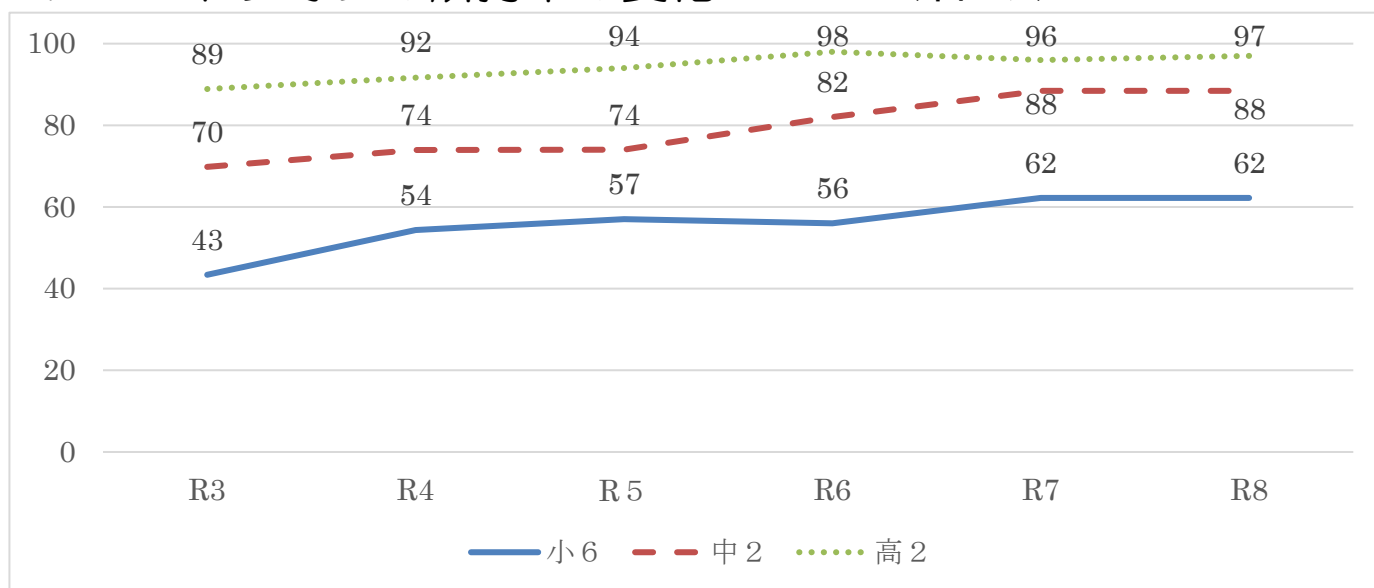


3 インターネットを利用して主にすること (単位:%)



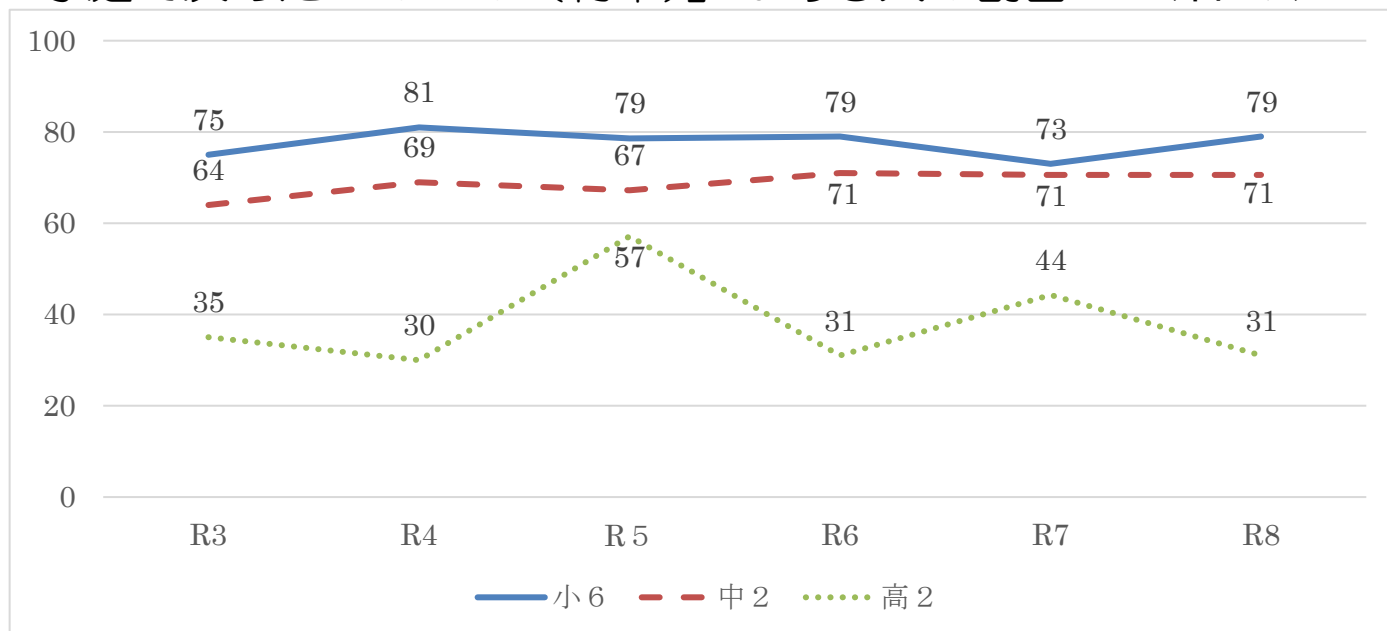
スマートフォンの所持率の変化

(単位:%)



家庭で決めた「ルール（約束）」がある人の割合

(単位:%)



スマートフォン等の普及が進んでいることがアンケート調査の結果から分かりました。インターネットの利用方法が多岐に渡っていることや学齢期があがるにつれて家庭で決めたルールがあると答えている割合が減っていることがわかります。子ども達が犯罪に巻き込まれる危険性もあるため、この機会に御家族で使い方やルールの確認をしてみてください。

青少年相談センターってどんなところ？

悩みや不安を抱える青少年や、こどものことで心配ごとをお持ちの保護者及び関係者の相談に応じる機関です。また、不登校になった児童・生徒の自立と学校復帰への支援、発達支援を学校と連携して行う教育支援センターや若者支援を行う場として機能しています。



相 談 日：月曜日～金曜日
（祝祭日・年末年始は休み）
相談時間：午前 9 時～午後 5 時
※第 2・第 4 水曜日は、**午後 8 時**まで開設しています。



小中学生に関すること

 **0544-22-0064**

- ◆学校生活や学習のこと
- ◆家庭生活・生活態度等のこと
- ◆いじめや非行の問題のこと
- ◆発達上の問題や子育てのこと
- ◆不登校のこと

中学卒業～39 歳までの方に関すること

 **0544-22-1252**

- ◆若者の就学・就労のこと
- ◆ひきこもりのこと
- ◆友人関係や職場の人間関係のこと
- ◆性や身体の悩み・男女関係のこと
- ◆不登校のこと

ご相談の流れ

- 1 まずはお電話、もしくは二次元コードを読み取り、メールをください。
- 2 スタッフにお名前と連絡先、相談内容をお伝えください。
（匿名での相談も可能です）
- 3 必要に応じて、面接相談の予定を立てたり専門機関を紹介したりします。



メールはこちらから
送れます。

